

政策2 緑豊かな環境づくり

施策1 自然環境の保全

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
ホタルの育成と保護の推進事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による「環境の都」づくり	環境政策監
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	604,400	
一般	4	1	8		
目的					
ホタルの保護・育成を通じて、市民の環境保全に対する関心を高め、環境保全活動を活性化させます。					
内容					
「長岡京市ゲンジボタルを育てる会」と協力し、ゲンジボタルの保護と育成を行います。					
ホタル幼虫の放流(西代ホタル専用養殖池)					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
ゲンジボタルの保護育成を推進し、ゲンジボタルの生息地の拡大を目指します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
西代橋付近から金ヶ原橋付近まで(平成22年度)	目標	西代橋周辺から菩提寺橋周辺までのホタルの生息	西代橋周辺から菩提寺橋周辺までのホタルの生息	西代橋周辺から菩提寺橋周辺までのホタルの生息	西代橋周辺から菩提寺橋周辺までのホタルの生息	西代橋周辺から菩提寺橋周辺までのホタルの生息
	実績	金ヶ原橋下流でホタルの減少が見られた	減少すると見込まれていたが、前年度同程度のホタルの飛翔が確認された	前年度同程度のホタルの飛翔が確認された	前年度同程度のホタルの飛翔が確認された	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 西代公園内のホタル養殖池を管理し、ホタル幼虫の放流を行いました。 6月には「ホタル観賞のタベ」を西代橋付近で実施し、2日間で合計2,000人の来場がありました。 7月の滋賀県守山市への視察研修ではホタルの住みやすい環境について学び、工事中の西代公園の水路整備について検討し、意見を述べました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況			ほぼ達成できた(目標の80%~100%)			
<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的及び目標については、長岡京市ゲンジボタルを育てる会や小泉川流域の各自治会の清掃活動などのホタル保護育成活動により概ね達成できました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 長期間に及ぶ河川工事に伴い、ホタル生息地である小泉川流域に著しい環境変化が見られます。 長岡京市ゲンジボタルを育てる会や小泉川流域の各自治会によるホタル保護育成活動と連携しながら、西代公園内水路や養殖池等を新たなホタル育成の拠点として整備し、引き続きホタルの保護育成に取り組めます。 						

政策2 緑豊かな環境づくり

施策1 自然環境の保全

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
西山森林整備推進事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	農林振興課
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	4,500,000	
一般	4	1	8		
環境調査					
					
目的					
<p>緑の保全をはじめ森林が持つ水源涵養などの機能を高めるとともに、四季を感じられる西山（里山）の再生を図ります。</p>					
内容					
<p>市民や環境団体、企業、行政など地域の多様な主体の連携により設立された西山森林整備推進協議会を中心に、西山の保全を図ります。</p>					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
<p>多くの市民に西山森林整備推進協議会の活動を知ってもらうために森林ボランティア体験行事を開催するとともに、森林ボランティア団体数の増加を目指します。</p>						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
森林ボランティア活動団体数 18団体 (平成22年度)	目標	森林ボランティア活動団体数 18団体	19団体	20団体	21団体	22団体
	実績	19団体	20団体	20団体	21団体	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 森林整備や自然環境調査、環境教育事業、ボランティア養成講座、薪割大会など、産官学民の多様な主体が連携し、様々な事業を実施しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> 西山森林整備推進協議会の組織が成熟し、各主体の連携体制が確保できていることから、森林整備と啓発事業は目標どおりに進行しています。 新規のボランティア活動団体を獲得するために各企業や市民団体に呼び掛けており、平成26年度は1団体の増加となりました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 森林ボランティア団体の高齢化と後継者不足・森林ボランティア養成講座やボランティア行事に加え、各企業等に参画を呼び掛け、次世代育成のための環境教育や啓発事業を充実させます。 						

政策2 緑豊かな環境づくり

施策2 都市緑化の推進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
公園緑地整備事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	公園緑地課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	320,766,946	
一般	8	4	4		
西代公園整備イメージ図					
					
目的					
文化や歴史など長岡京市特有の地域性を活かしつつ、安心安全な公園づくりを進め、誰もが快適でゆとりのある都市基盤を整備し、市民1人当たりの公園面積を増やします。					
内容					
公園及び緑地の整備を促進します。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
公園及び緑地の整備促進を図ります。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
公園及び緑地223か所 (平成21年度)	目標	市南部地区整備に伴う公園の増及び開発提供公園による増	市南部地区整備に伴う公園の増及び開発提供公園による増	市南部地区整備に伴う公園の増及び開発提供公園による増	市南部地区整備に伴う公園の増及び開発提供公園による増	市南部地区整備に伴う公園の増及び開発提供公園による増
	実績	公園及び緑地234か所	公園及び緑地244か所	公園及び緑地246か所	公園及び緑地256か所	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 開発指導などにより新たに3箇所の公園が増加しました。 立命館中学校・高等学校の開校に合わせ、立命館西、東公園を整備しました。また、神足公園（勝龍寺城土塁跡）を国庫補助事業として整備しました。 教育委員会やまちづくり政策監などと連携し、恵解山古墳公園の復元整備や二外高架下の拠点となる調子馬ノ池公園、下海印寺尾流並びに西条公園を整備し、市南部地区整備による公園の増加に取り組みました。合わせて西代公園についても平成27年度完成目標に工事着手しました。 身近な公園及び緑地が、市民の憩いの場として多くの人々に利用されるように、西山公園にLED照明の設置や、散水栓設置等の公園緑地整備工事を実施しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
・市南部地区整備に伴う公園整備や開発提供公園などで10か所の公園が新しく整備しました。						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 公園の整備は、他事業で整備される公園を管理者の立場から指導することに主眼があり、様々な主体と協力して達成する必要があります。 公園に求めるものが、地域や世代、人によって様々で、多様な意見を集約しながら安全な公園づくりを行っていくのが課題です。 長岡京市都市公園条例により明記した緑の基本計画の目標値(37年に4.5㎡)に見直しなどを検討します。 						

政策2 緑豊かな環境づくり

施策2 都市緑化の推進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
みどりのサポーター制度促進事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による「環境の都」づくり	公園緑地課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	9,950,000	
一般	8	4	4		
みどりのサポーター制度の紹介					
<p>目的</p> <p>市民と行政の中間組織である緑の協会が、市民や事業者と共に緑化・美化の取り組みを進めることで、市街地にうるおいのある空間を創出し、更に、市民や企業の参加を促進するとともに、市民の緑化意識・美化意識の高揚が図れます。</p>					
<p>内容</p> <p>緑化や美化活動を行うボランティアの登録制度である「みどりのサポーター制度」を促進します。また、登録団体には、用具の貸し出しや傷害保険の加入などの支援を行います。</p>					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
緑化と美化活動に取り組むボランティアの団体の数を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
59団体 (平成21年度)	目標	75団体	80団体	85団体	90団体	95団体
	実績	63団体	74団体	75団体	88団体	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)長岡京市緑の協会の公益目的事業と協働して取り組みました。 ・管理作業などの機会にみどりのサポーター制度の紹介を行うことで、新規で登録に繋がった団体がありました。 ・みどりのサポーターの各団体が、制度について話合う意見交換会を、みどりのサポーター自らの企画・運営により開催し、「まちかどトーク」と同時に実施しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> ・この制度は、サポーターによる自発的な活動を支援するボランティア制度で、公園や道路以外でも市有の公共施設であれば活動できる気安さがあります。 ・(公財)長岡京市緑の協会が行政とサポーターの中間組織として機能したこともあり、登録団体数は年間5団体以上の増加目標は達成しました。 ・しかし高齢化等の要因により一部団体で登録の取消しがあり、目標団体数には届きませんでした。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・制度を活性化させ、活動をPRする必要があります。 ・府道や府管理河川、国道などは、それぞれ別のボランティア制度を有しているため、道路に花を植えたいと思っている市民がおられても、活動場所が市の公共施設でなければ制度の適用ができず、同じ長岡京市内であっても、活動範囲が制限されることが課題です。 ・より多くの市民が積極的に参加していただけるような活動を行うため、(公財)長岡京市緑の協会や長岡京市のホームページを活用し、子どもから学生までが参加しやすい方法を検討します。 ・みどりのサポーターが自ら開催する意見交換会などで、活動の楽しさを伝える方法などを話し合いを行います。 						

政策2 緑豊かな環境づくり

施策2 都市緑化の推進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
身近なみどりの創出事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による「環境の都」づくり	公園緑地課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	3,535,800	
一般	8	4	4		
目的					
市街地の緑化を進めることで、うるおいのある空間が創出され、更に市民の植栽緑化や環境美化に対する意識啓発を目指します。					
内容					
市民の協力を得ながら河川、学校などの公共空地や民有空地について、樹木や花の植栽などの緑化を行います。					

身近な緑の創出事業の紹介

私たちの身近に豊かな緑を



緑豊かなまちづくりは、市民の生活の質を向上させるために不可欠です。身近な緑の創出事業を通じて、市民の協力を得ながら、より良いまちづくりを進めていきます。

事務事業の目標と成果

目標指標と実績

緑被面積（樹木の樹幹、または地被類に覆われた面積）を増やします。

現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
地被類を含む 緑被面積 1,888㎡ (平成21年 度)	目標	地被類を含む緑被面積 2,200㎡	2,400㎡	2,600㎡	2,800㎡	3,000㎡
	実績	地被類を含む緑被面積 2,469㎡	2,571㎡	2,618㎡	2,669㎡	

平成26年度の事業内容

- ・みどりのサポーターや自治会等に事業を照会し、(公財)緑の協会の協力を得ながら各団体の要望に基づき、市内各地8箇所にサクラやハナミズキ、キンモクセイなどの高木41本、アジサイやキシマツツジなどの低木455本の植栽を行いました。
- ・そのうち、低木の240本は市民のボランティアにより植栽することができました。
- ・平成25年度に引き続き事業費の一部に認定NPO法人瀬戸内オリーブ基金を活用できました。
- ・民有地の緑化推進のため、グリーンカーテン事業補助金を創設し、(公財)緑の協会による第2回グリーンカーテンコンテストを実施しました。

平成26年度の達成状況

年度目標の達成状況 ほぼ達成できた(目標の80%~100%)

- ・継続した事業の取り組み状況を(公財)緑の協会を通じ、みどりのサポーターや自治会に事業を照会した結果、樹木の選定・植栽などに市民の協力を得ることができました。
- ・グリーンカーテン事業に取り組み、(公財)緑の協会が小学校への出前講座やグリーンカーテンコンテストを開催するなど、民有地緑化推進に貢献しました。

課題と今後の対応

- ・事務事業の外部評価の結果を受け、市民協働に主眼を置き、今後さらに草の根運動的な展開を行うため、花苗10株を植えるために必要な花壇を1㎡とし、コンテストに応募した方のゴーヤ等の苗数712株(花壇換算面積71.2㎡)を目標指標(緑被面積)に加えるなど、環境の変化に対応していきます。
- ・これまでの取り組みを継続して行い、少しでも多くの市民に事業へ参画いただけるよう、(公財)緑の協会の協力を得ながら実施していきます。